

C95
うぐがキ帳



ADULT ONLY

「宝田六花さんですよね？」
「ん？」

「…どなたですか？」

「新しく神様になることになった下田と言います」

「これからちよっと付き合ってもらえますか？」

「は？」

「なんで…神様のこと…なんがキモチ悪い」

「すみませんけど用事あるんで」

「…いいから付いてきなよ」

「設定しなおすんだから」

「キイイーン…」

「え……」



「部屋…汚いし…臭くて最悪…
アンタが新しい神様だつて
わかったから
もう帰してよ…体言うこと
聞かないんだけど」

「そんなこと言つて…
好きでしょ、この部屋の匂い…
ボクの匂いで発情するよう
設定してるからね」
「嘘…最悪…」
「もう我慢できないでしょ？」
ボクも…その太ももで
抜いて貰おうかな♡」

「いやあ！誰か助けてっ！響くんっ!!」

「あゝ君が好きな男の子だっけ？
でも安心して…すぐにボクの方が
恋しくなるから…恋愛感情の設定は
手間だから即効性のある性感度と性癖…
趣味も調整してボク好みのエッチなJKに
してあげる…ホラ♪
もう太ももだけで感じるでしょ？」

「んんん…んんん…んんん…
ふひひ♡ふひひ♡ふひひ♡」



「うっ…な…なんで
…お尻ばっかり…」
「フフ…前でやって
ほしかったのかな？」
「お尻でも何度も
気をやったじゃないか」
「ア…ンタがさうなるよう
設定したんでしょ…ハカ…」



「どうやら、まだ生意気な
性格が治ってないね…ならトドメ！
ボクのブリーフ攻撃だっ！ククッ」
「ちよっ！ちよっ！と待って！！」
「そんなの臭いの嗅いだら…」
「ひっ♡ひっ♡うっ♡ま…まだあ！
いっ♡うっ♡うん♡♡♡」



—数週間後

「遅れず来たね
えらいよ六花ちゃん」

「当然でしょ…」

大事な撮影の日なんだから♡

響くんの誘いをわざわざ断ってきたし…」

「嬉しいよ…ボクを優先してくれたんだね♡

ボクの好きなエロゲの衣装まで着てくれて♡」

「じ…じ…までしたんだから…
今日は前で…こっちは…
オマンコでシてくれるのよね？
…もう自分で弄っても
イケなくて…限界…
ね♡いいでしょ？」
「…そうだね…」



おひい♡このウソつき♡んおっ♡
でもケツマン♡♡♡ヤハツ♡マジイキする♡
いく♡いく♡んおお♡♡♡
「このコスプレアナルAVが売れたら考えてあげるから
頑張っ♡六花ちゃん♡」
「だっ♡アナルでい♡♡ケツマン♡ヤハツ♡ん♡
い♡が♡買っ♡え♡六花のケツマン♡AVも買♡ん♡♡♡」

「買ってくれた人♡
立花の処女損失がみたかったら
複数買い、よろしく♡♡
じゃあ次の作品だのしみにしてね♡♡」

おはっ

▣ 奥付 ▣

■ 発行日 2018.12.31

■ 誌名 C95ヲケキ帳

■ 著者 武田弘光

■ 発行 真珠貝

■ 印刷 株式会社 緑陽社

■ Email pearl_shell@wing.ocn.ne.jp

■ TWITTER <https://twitter.com/shinjugai>